



### 地域に密着した ボランティア体験が 豊かな心を育む！！

文部科学省は中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編の中で、「豊かな体験活動の充実」を取り上げています。その中で、「他の人々や社会のために役立ち自分自身を高めることのできるボランティア活動、……地域の行事への参加も、幅広い年齢層の人々と接し、人々の生活、文化、伝統に親しみ、地域に対する愛着を高めるだけでなく、地域貢献などを通じて社会に参画する態度を育てるなど、生徒にとっては道徳性を養う豊かな体験となる。」と述べています。

本号では、子ども食堂「おひさまカフェ」にボランティアとして参画し、地域に貢献している玖珂中学校を紹介します。※ 子ども食堂 …子供やその保護者、地域住民に対し、無料または安価で、栄養のある食事や温かなだんらんを提供するための社会活動（明確な定義はない）

#### 子ども食堂 ボランティア活動 <毎月 第3土曜日>

調理や配膳、おもてなしだけではなく、来た子供が楽しめる活動が仕組んであります。中学生はこのボランティアを楽しみにしていて、毎回募集をかけて、1日で定員が埋まってしまう。<青木教頭>



令和2年10月に活動を開始し、食事の提供だけでなく、工作などのリクリエーション、フラワーアレンジメント、クリスマスコンサート、茶道体験など多様な活動を取り入れています。地域の皆さんや中学生、高校生のボランティアスタッフが活動を支えています。

<おひさまカフェ代表 高木さん>



何回も参加しているので、要領がわかってきました。活動自体が楽しく、「また来たい」といつも思います。<中学生>

事前に、地域の方に教えてもらったので、小学生に上手にお茶を出すことができました。<中学生>

玖珂中の卒業生です。“ありがとう。”と言ってもらえることが嬉しくて……<高校生>

食糧の仕分け(フードパントリーの活動)も慣れてきました。自分が人の役に立っていることが嬉しいです。<中学生>

調理する人、会場を作る人、体験活動やゲームコーナーを作る人、そして参加した人、全員が笑顔でした。玖珂小の家庭科室・多目的スペースの活用で、子供も地域住民も集まりやすくなったようです。地域交流の拠点の一つとして、住民のつながりを深め、地域で子供の成長を見守る姿がそこにありました。そして、地域の一人として、生き生きと活躍する中学生、卒業生のたくましさを感じました。学校や家庭で育てられたボランティアの心が、地域の活動で生かされる… 学校教育、社会教育、家庭教育の一体感を感じました。

